

- ◆ 平成28年12月22日に発生した糸魚川市の大規模火災に対する復興支援として、関東財務局の呼びかけにより、地域金融機関、政府系金融機関など多様な機関・団体による「糸魚川を支える応援団」を結成。
- ◆ 将来を見据えた復興を推進していくため、当局と地元糸魚川市の関係者と連携を図り、糸魚川市と共同で「糸魚川市復興フォーラム」(第1回)を開催(29年3月30日・30機関約80名が参加)。息の長い取組として、今後とも関係機関としっかり議論を進めていく予定。

1. 成果事例の概要等

- 糸魚川市においては、「糸魚川市駅北復興まちづくり計画」策定に向けた検討委員会が設置(3月2日)され、「復興」と「まちづくり」を同時に進めていく取組がスタート。
- 当フォーラムは、**当局から、開催を糸魚川市に提案、実施が決定。**地域金融機関、政府系金融機関をはじめとする**多様な機関・団体が当市に集まり、「糸魚川を支える応援団」を結成。**地元の糸魚川市の関係者と連携を図りながら、将来を見据えた復興を推進。
- 第1回会合では、各参加金融機関が東日本大震災など他の被災地での支援事例や、糸魚川大火における現在の取組を紹介。また、今後、当市において活用可能性がある事業や支援についても提案。



被災エリアの状況 (H29.3.30撮影)

「糸魚川を支える応援団」 (糸魚川市復興フォーラム参加機関)

政府系金融機関、地域金融機関、信金中央金庫、損害保険協会、証券業協会、信用保証協会、弁護士会、ミュージックセキュリティーズ(株)、新潟県、関東財務局

未来志向の
糸魚川市の
復興・発展

知恵を出し合い、糸魚川市の課題解決策を提案

2. これまでの取組の成果等

- 第1回会合の主な金融機関からの提案内容や地元からの要望は以下のとおり。
 日本政策金融公庫
 「ソーシャルビジネス・創業支援ネットワーク」を構築し、UIJターンを軸とした創業支援を通じて、復興・経済活性化を支援 等
 第四銀行
 ①創業支援(創業アワード開催による伴走型支援の実施など)、②6次産業化支援、③土曜日曜に朝市を開催、④首都圏・県内からインターンシップ生受け入れ 等
 北越銀行
 ①PPP/PFIの組成支援、②クラウドファンディングによる糸魚川市の魅力発信、③ビジネスマッチングによる販路拡大支援、④商店街・飲食街の集客支援 等
 「鶴来家」(大火で全焼した老舗割烹料亭)
 若い世代が夢を持てる糸魚川にするため、UIJターンの支援を要望 等。
- 木村副市長から「様々なアイデア・提案に感謝。これから進める「まちづくり」の検討に、産官学金労言の「金」が入っていなかったため、金融機関には引き続きご支援いただきたい」とのコメント。また、フォーラムの様子は新聞各紙に掲載。



フォーラムの様相



小野局長挨拶



糸魚川市・米田市長と木村副市長

3. 今後の課題と関東財務局等の対応

＜今後の課題＞

- 糸魚川市の課題解決策をしっかりと抽出。単なる復旧ではなく、**未来志向の糸魚川市の復興・発展に繋げていくことが必要。**

＜関東財務局及び管内財務事務所の今後の対応＞

- 第1回会合の事例紹介や提案を基に、未来志向の糸魚川市の復興・発展に繋げる具体的な取組実施に向け、更に議論を深めていく。